

科目名	化学演習 I	英語科目名	Exercises I in Chemistry		
開講年度・学期	平成 23 年度・前後期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 2 年		
授業形態	講義	必修 or 選択	必修		
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30 h		
担当教員	胸組虎胤	居室（もしくは所属）	物質工学科実験棟 2 階		
電話	0285-20-2800	E-mail	munegumi@oyama-ct.ac.jp		
授業の達成目標		授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
1. テキストにある少なくとも 20 種類の実験器具の名称を英語で言えること。		③			
2. テキストにある簡単な化合物の名称を英語で書けること。		③			
3. 化学の諸分野の名前を書くことができる。		③			
4. 化学の歴史や化合物の説明にしばしば使われる語法、文法的項目（後置修飾、過去分詞、現在分詞、分詞構文）を理解し、適切に日本語に訳せる。		③			
5. 化学について説明した文を読んで、その内容を言い換えて説明できること。		③			
6. 英和辞典を使う習慣を身に付けること。		③			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法					
各試験にお 60%以上の成績で評価する。 課題に対する提出レポートの内容を設定水準で評価する。					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> 前期 2 回試験（中間と期末）計 200 点 後期 2 回試験（中間と期末）計 200 点 夏休みの課題 50 点 (No. 31~40) 					
授業内容					
1. 学習の仕方、テキスト前書き、実験の注意、 実験器具 （1 週）					
2. テーマ No. 1~15 （6 週）					
前期中間試験					
3. テーマ No. 16~ 30 (7 週) ,					
前期期末試験					
4. テーマ No. 41~55 (7 週)					
後期中間試験					
5. テーマ No. 77~90 (7 週)					
学年末試験					
キーワード	英語、化学実験、実験器具、実験操作、物理化学、有機化学、無機化学				
教科書	「注解付化学英語教本」川井（共立出版）				
参考書	1. エッセンシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999 3. やさしい化学英語、オーム社、2003 4. 学生化学用語辞典、共立出版 第 2 版 1998				
小山高専の教育目標					
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	化学基礎実験、英語 I				
現学年の関連科目	分析化学実験、英語 I、基礎化学				
次年度以降の関連科目	有機化学、無機化学、物理化学				
連絡事項					
授業前にわからない単語をすべて英和辞典で調べておくこと。					
シラバス作成年月日：平成 23 年 2 月 24 日					